

研究名： 先天性嚢胞性肺疾患に対する ICG 蛍光造影を用いた肺区域切除術施行例の検討

1．研究の目的

小児先天性嚢胞性疾患の手術においては、病変を含む肺葉切除が行われることが多いです。しかし安全におこなわれるのであれば、健常な肺をなるべく残して病変のみを切除した方が良いと考えられます。最近 ICG（インドシアニングリーン）蛍光造影によって手術中に臓器の血流を確認出来る用になり肺切除術時にも有用であることが報告されています。

当科では、複数の肺葉に病変があった患者さんには、ICG 蛍光造影法を用いながら可及的に健常肺を残す区域切除を行っています。これまでの経験を振り返り、その手術法の利点や問題点を検討します。

2．研究の方法

研究対象：当センターにて 2020 年 1 月 1 日～2021 年 12 月 31 日までの 2 年間に先天性肺嚢胞性肺疾患診断された方の中で ICG 蛍光造影法を用いた肺区域切除術を受けた患者さん

研究期間：倫理審査委員会承認後～2023 年 3 月 31 日迄

研究方法：カルテを振り返り、必要な情報を集めて、手術法の安全性や有効性を検討します。

3．研究に用いる情報の種類

年齢、性別、手術・麻酔記録（手術時間、出血量等）、手術写真、画像検査、病理検査、診療録記載内容等を用います。

患者さんの氏名など、本人を特定出来る一切の個人情報は調査対象ではなく、個人情報は保守されます。

4．情報の公表

研究内容は学会発表や学術論文の形で公表する予定です。

5．研究実施機関

国立成育医療研究センター

6 . お問合せ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、2022年3月31日までに下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

国立成育医療研究センター 外科 藤野明浩
住所：〒157-8535 東京都世田谷区大蔵 2-10-1
電話：03-3416-0181（内線：7471）

研究責任者：

国立成育医療研究センター 外科 藤野明浩